KELLER RINAUDO

Founder and CEO Zipline

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Environment
- Society

Keller Rinaudoはロボット工学とヘルスケアの革新者で、ドローン技術を使用して命を救う方法を世界に示しています。

RinaudoはZiplineのCEO兼共同創設者であり、救命処置を必要とする地域に運ぶために特別に設計されたカスタムロボット航空機のシステムを管理しています。世界保健機関による「先見の明のあるプロジェクト」、ニューヨークタイムズ紙の「航空宇宙産業の新顔」、および2017年のビジネスインサイダーの「注目すべきスタートアップ」の1つであるZiplineは、欠席を飛躍させるために最先端のテクノロジを使用します世界中に既存のインフラストラクチャを設置し、世界の最も遠隔地にいる医療従事者とその患者に医療上の必要性を提供します。同社は現在、アフリカの一部および米国の3つの州で事業を展開しています。 Rinaudoは、Fortuneから2016年の「ビジネスで最もクリエイティブな人々」の1人に選ばれ、Forbesの名高い2017年の「30 Under 30」を「コンシューマテクノロジー」カテゴリにランクインしました。

ジップラインとルワンダの国との画期的なパートナーシップは、これまでのところ組織の最大のサクセスストーリーであり、最終的には1,100万人の国民全員を15〜30分の血液と必要不可欠な医療製品の配達以内に納めます。ジップラインドローンは現在、ルワンダの西半分にある21の輸血施設に1日当たり50から150の赤血球、血漿、血小板の配達を行っています。Ziplineはまた、ワクチン、UPS、USAID、および東アフリカの他のいくつかの国々のためのグローバルアライアンスと協力しています。 2017年には、Fast Companyは今年、「私たちの生活を形作る12の技術トレンド」の1つとして、無駄のない目的で使用されていることを挙げ、Ziplineの成果を証明しました。

Ziplineを設立する前、Rinaudoはロボットと自律システムに特に興味を持っているソフトウェアエンジニアでした。ハーバード大学を卒業したRinaudoは、人間の細胞で分子医者として働くRNAとDNAからコンピューターを作り、この研究をNature Biotechnologyに発表し、その歴史の中で最も若い著者の一人となりました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988